

“とちぎ発”の節電対策と再生可能エネルギーの導入について

平成23年11月18日

栃木県環境森林部 地球温暖化対策課



オール栃木節電取組方針

キャッチフレーズ ～ みんなで達成しよう！ ピーク電力マイナス15パーセント！ ～

〔平成23年5月20日 震災復興推進本部決定〕

1 基本方針

- (1) 国の電力需給対策を踏まえ、県民、事業者、行政が一丸となって節電に取り組む。
- (2) 電力需要の高まる7～9月を重点期間とし、できるものは即実施する。
- (3) 目標

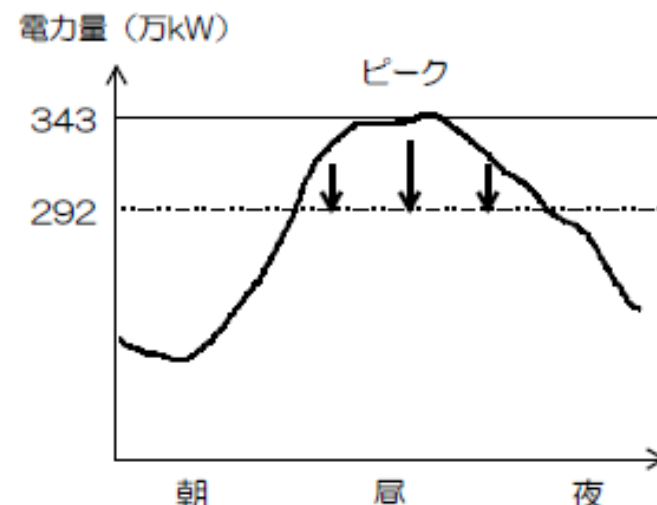
全 県	ピーク時使用電力15%削減 *1 *2
-----	---------------------

*1 栃木県内の昨年のピーク使用量：H22.7.23（15時）
約343万kW ⇒ 約292万kW（▲約50万kW）

*2 医療機関等については、できる範囲での協力を要請

県有施設	ピーク時使用電力20%以上削減 *3 各施設ごとに目標値を設定・公表
------	---------------------------------------

*3 ライフライン施設等については、施設機能を考慮の上
できる限りの節電



大規模停電を回避するため
には9～20時の電気使用量
を下げる必要があります。



1 県有施設共通の取組(主な例)

空調	□冷房時の室内温度28℃の徹底 □クールビズ実施期間の延長(5/1～10/31) ※ ポロシャツ着用可 □空調エリアの制限(廊下などの共用部分の空調停止)
照明	□自然光利用による昼間の消灯 □執務室・共用部分の間引き点灯(蛍光管の撤去(本庁舎1,400本撤去済)) □勤務時間終了時の一斉消灯及び残業時の必要箇所のみの再点灯
機器等	□パソコンの省エネモード設定と、退庁時のプラグ抜き □コピー機、プリンターなどの使用台数の削減と、退庁時のプラグ抜き □電気ポット、電子レンジ等の使用制限
設備等	□デマンド表示装置の効果的活用によるピーク抑制 □エレベーターの稼働台数削減 □自動ドアの一部使用停止 □トイレ手洗い給湯の停止、暖房便座及びハンドドライヤーの電源オフ
その他	□職員、生徒及び施設利用者(一般県民を含む)への節電啓発と協力依頼 □節電監視員(率先実行計画推進員)によるパトロール実施



2 企業・事業所部門

(1) とちぎ産業節電サミットの開催

- ・意見交換、節電対策宣言を行うサミットの開催(5/23県公館)

(2) 商工団体・各種団体等と協力した取組

- ・節電リーフレットの配布等
- ・節電チェックリスト等を活用した中小企業向け節電セミナー、省エネ・節電対策機器の展示会
- ・商工団体の経営指導員等の巡回指導

(3) 中小企業の取組への支援

- ・地球温暖化対策アドバイザー等の専門家派遣
- ・企業ニーズに応じた省エネ、新エネ技術の研究開発の促進
- ・中小企業が省エネ施設等を導入する際の融資



3 家庭部門

『“とちぎ発”節電アクション大作戦』



薄暮を楽しみながら...

オール栃木で
がんばろう！

実施日時 6月22日(水) 午後6時～午後8時

対象地域 栃木県全域

節電目標 実施時間帯の前年同時期比15%カット



重点取組
(例)

事業所の取組例 → ノー残業デー、看板の消灯
店舗の取組例 → 看板の消灯、室内は最小限の点灯
家庭の取組例 → 無理のない範囲でエアコンを消して、
家族や仲間が集まって夕涼みをする

薄暮を楽しみながら...

のタイアップイベント

サンセットコンサート & キャンドルナイト

日時

6月22日(水)
午後5時30分～午後7時30分

場所

県庁昭和館前 及び 県庁本館1Fロビー

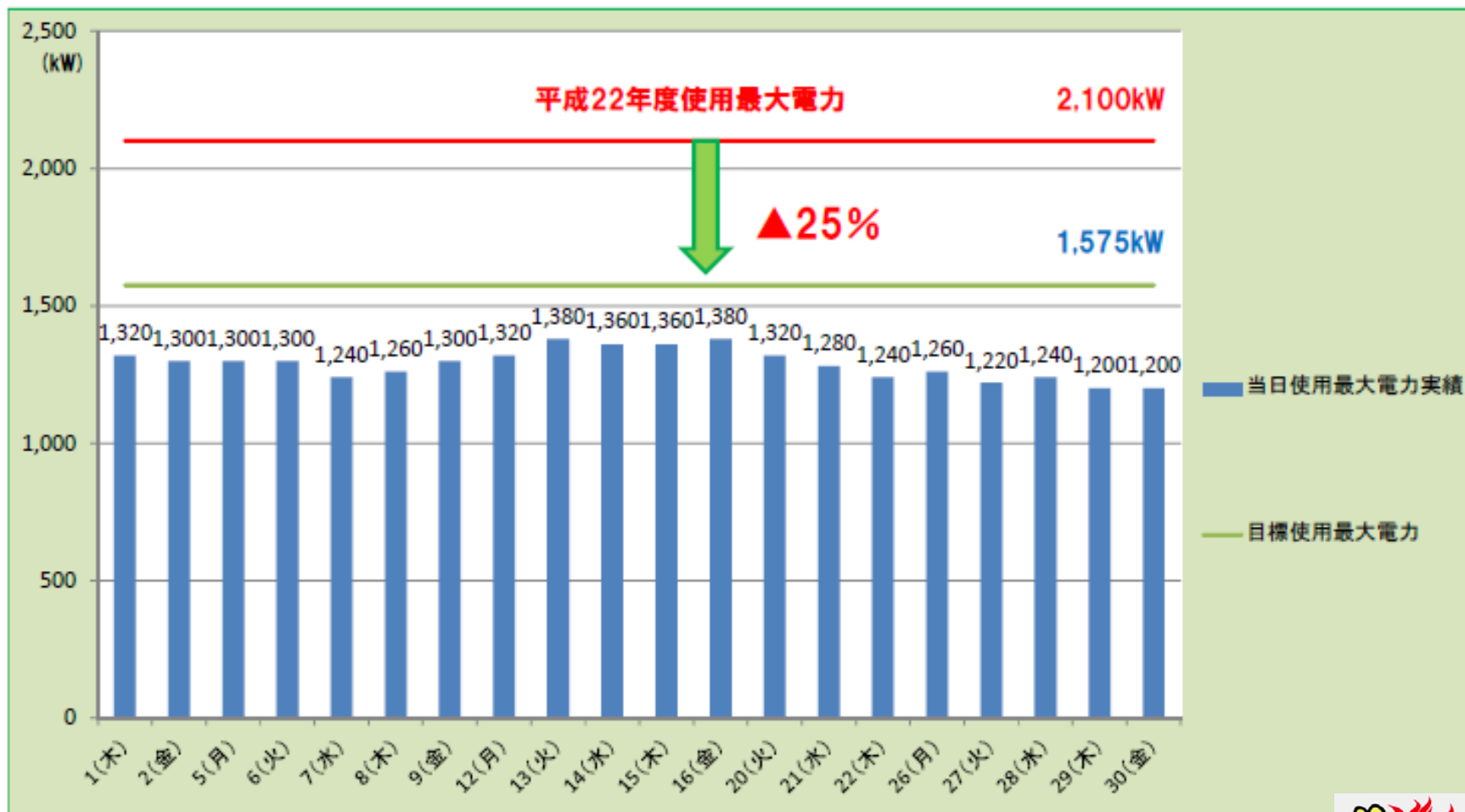
内容

節電トライアル開始カウントダウン
県警音楽隊によるコンサート
キャンドル点灯

主催：栃木県、栃木県地球温暖化防止活動推進センター

節電取組の結果

県庁本庁舎の使用最大電力（平成23年9月分）



※掲載している数値は速報値です。



節電取組の結果(まとめ)

県庁本庁舎

月	使用最大電力 (kW)		削減率(%)
7 月	1,440	22年最大 2,100	31.4
8 月	1,440		31.4
9 月	1,380		34.3

県庁大口需要家

月	使用最大電力 (kW)		削減率(%)
7 月	11,719	22年最大 16,581	29.3
8 月	11,914		28.1
9 月	11,433		31.0



栃木県における再生可能エネルギー の導入について

とちぎ環境立県戦略

～地球と人にやさしい
“エコとちぎ”づくりに向けて～



“とちぎ”を動かす3つの“力”

誠実、勤勉な県民性、
ボランティア活動への参加が進展



“県民の力”
を集める

長い日照時間や水、森林、
農地などの資源が豊富



“自然の力”
を活かす

多様な産業がバランスよく発展、
製造業など産業が集積



“産業の力”
を高める

とちぎの
特性を活かした
“3つの力”を
最大限に活用



リーディングプロジェクト

1 エコな人づくりプロジェクト

2 エコな暮らしプロジェクト

3 エコ技術・エコ産業づくりプロジェクト

4 エコカー普及促進プロジェクト

5 「とちぎサンシャイン」プロジェクト

6 「とちぎの水・バイオマス」活用プロジェクト

7 とちぎの元気な森づくりプロジェクト

8 とちぎカーボンオフセットプロジェクト



フラス・ワン

200万県民 1人1本
木を植えて
育てよう運動



栃木県地球温暖化対策実行計画

温室効果ガスの排出削減対策・施策

【ひとづくり】

重点プロジェクト1：「県民総ぐるみの省エネ活動推進プロジェクト」

重点プロジェクト2：「地球温暖化防止活動推進員育成・活用プロジェクト」

【再生可能エネルギーの利活用】

重点プロジェクト3：「太陽光発電利活用プロジェクト」

重点プロジェクト4：「小水力・バイオマス利活用プロジェクト」

重点プロジェクト5：「大気中の熱・温泉熱利活用プロジェクト」

【EV・PHVタウン構想の推進、中小企業支援、環境関連産業の振興】

重点プロジェクト6：「EV・PHVタウン構想推進プロジェクト」

重点プロジェクト7：「中小企業支援プロジェクト」

重点プロジェクト8：「環境関連産業振興プロジェクト」

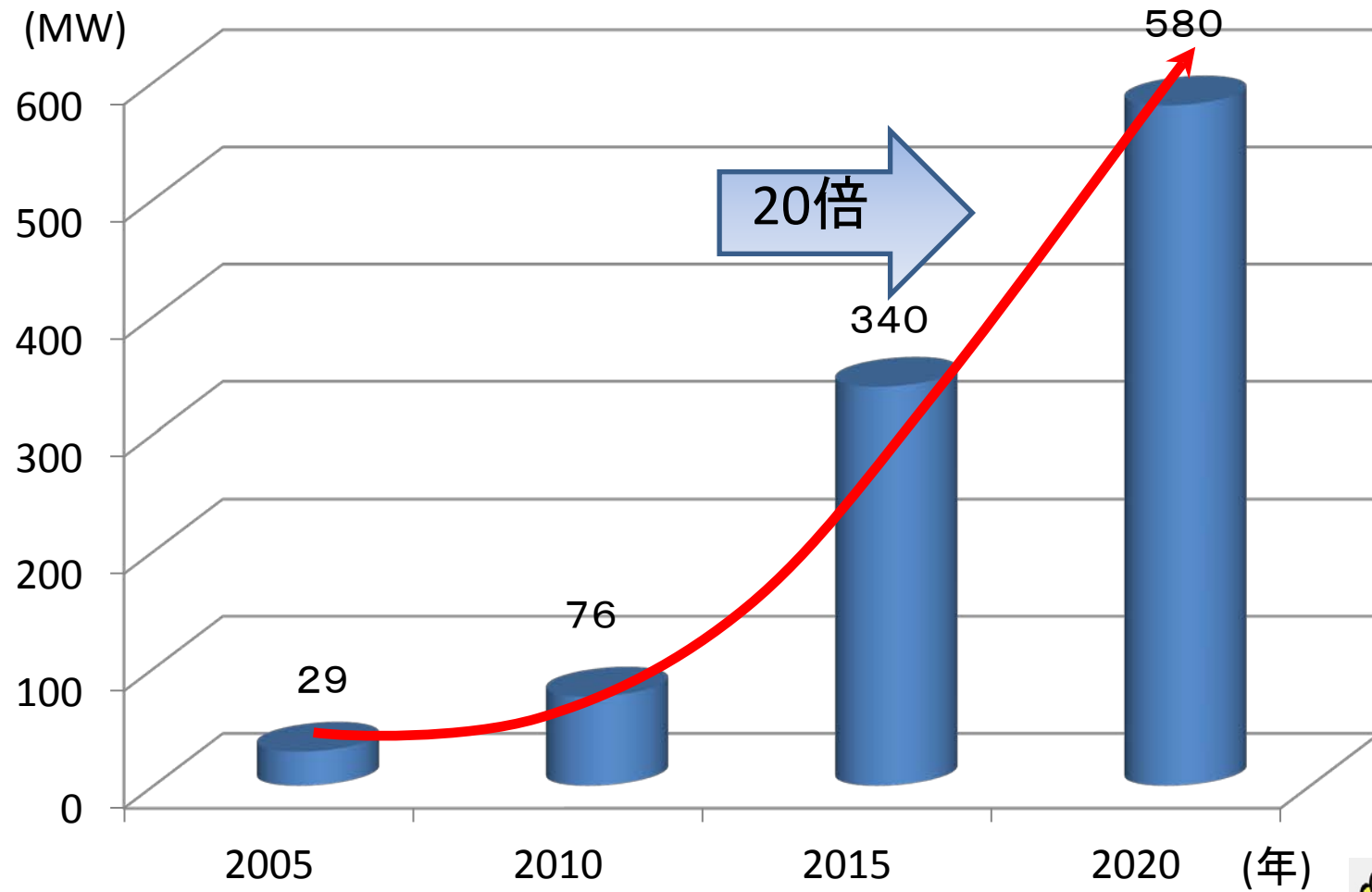


重点プロジェクト3: 「太陽光発電利活用プロジェクト」

- 取組の方向:
 - 太陽光発電導入の支援制度や電力固定価格買取制度などの情報提供
 - 県自らも率先的に導入
- 具体的な取組:
 - 住宅や事業場等への太陽光発電の普及促進
 - 学校や公共施設への太陽光発電の率先導入
 - 民間事業者等と協働によるメガソーラー発電の推進



太陽光発電設備導入量



住宅用太陽光発電と高効率給湯器の併設に支援

- 平成21年度から、助成制度をスタート
- 住宅用太陽光発電システムと高効率給湯器を併設する場合に7万5千円を上限に助成



メガソーラー候補地について

1 募集開始

平成23年8月5日

2 主な条件

- (1) 概ね2ha以上で日照条件がよい
- (2) 向こう20年間以上安定的に使用可能
- (3) 土地利用の大きな制約がない 等



候補地の公表(H23.10.5)

候補地の概要

○箇所数

46箇所(うち県有地5、市町有地6、民有地35)

○土地概要

山林16箇所、岩石採取場跡地等8箇所、
産業団地5箇所、原野・雑種地など17箇所

○総面積

431ha

(うち県有地26ha、市町有地29ha、民有地376ha)

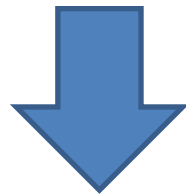


今後の予定

事業者の募集開始(23.10.5～)



発電事業参加希望書の提出(11月末まで)



1月以降 企画提案書の受付

